

人生を支えるケアの実践(第4回)

最期まで、その人らしく

○特養ホームでのくらしを支える生活支援の延長線上にある看取りまでの実践事例報告を通じて、決して特養だけのことではない、施設、在宅や地域の垣根を越えて、本来求められる福祉サービスについて考えます。

報告者: 四方 かおり(しかた かおり)さん

日時 9月21日(日) 14時00分～15時30分

申込不要・どなたでも参加できます。

Zoom: ミーティング ID: 844 7947 5109 パスコード: 556107

国は医療と介護の連携強化を推進していますが、実態は医療から介護への下請化のようです。

みなさん、ご自分の地域に所在している中小病院が『地域包括』ケア病棟・医療病棟に雪崩を打つように転換している動きに気づかれていますか。併せて低価格の住宅型老人ホームやサービス付住宅が急増していて、なかにはパーキンソン病などの疾患や心身障害を専門とする有料老人ホームも数を増やしています。病院の病床削減政策、医療や介護保険サービス領域での「効率化」「生産性向上」が叫ばれ、その切り札のように「看取りケア」が注目されています。

あたかも高齢者ケアは「看取り」一直線のようです。

もともと高齢期のくらしを多様でゆたかに支える実践の延長線上に「看取り」があり、介護現場はその実践を積み重ねて、福祉サービス、介護サービスの「質」が高まることを実感してただけに昨今の状況は、ただでも影が薄くなっている「利用者本位」の本質がさらに失われるほど危機的です。

福祉・介護の現場で、高齢者、家族そして地域でのくらしを介護(ケア)を核にした福祉サービスを通じて、ゆたかに支えることをめざした実践報告から、求めるケアの本質とあり方を考えます。

事務局: 全国老人福祉問題研究会練馬支部

(お願い) すべての人々にゆたかな高齢期が保障される社会をねがうみなさんにより開催されている研究会です。一期一会も大切にしています。ZOOM では参加の方々が密室・暗室に閉じこもっておられるようで不気味という方も多いので、特に事情のある方を除き**ビデオはオープン**にさせていただき、「オーディオ」は**ミュート**にして親しみやすくなごやかな雰囲気でご参加ください。